

2010年度第7回臨時教育研究審議会議事録

日 時	2011年3月16日（水）10:40～12:20
場 所	本部棟 大会議室
出席者	学長、学部長、研究科長、図書館長、地域研究センター長、木立教授、 落合准教授、吉原教授、事務局長 委任状提出者：齊藤理事

【会議概要】

定足数	○定款第23条により成立
案件①	<p>地域連携センター規程の制定について（審議）</p> <p>○学長から、組織改革により2011年度から地域連携センターを設置することに伴い、新たに地域連携センター規程を制定するとともに、地域研究センター規程その他の既存の規程もこれに合わせて改正することについて、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案通り制定することについて承認された。</p>
案件②	<p>組織改革に伴う関係規程の改正について（審議）</p> <p>○学長から、既に教育研究審議会で承認された2011年度からの組織改革の内容に合わせ、関係規程を改正することについて、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案通り承認された。</p> <p>○また、事務局長から、事務局組織の改編に伴い、教授会構成員について定める教授会規程の関係部分を改正する必要がある旨の説明があり、これについては4月の教育研究審議会で議論し、同月の教授会に反映させることが了承された。</p>
案件③	<p>公立大学法人青森公立大学平成23年度計画について（審議）</p> <p>○事務局（総務管理・秘書企画チームリーダー）から、地方独立行政法人法に基づく法人の平成23年度計画案について、青森市との調整の結果等を踏まえ、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案通り承認された。</p>

<p>案件④</p>	<p>国際芸術センター青森の自己点検評価について（審議）</p> <p>○学長から、国際芸術センター青森あり方検討委員会での議論を踏まえ実施した国際芸術センター青森の自己点検評価に関し、2月9日に行われた自己評価委員会での検討を踏まえとりまとめた評価結果について、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議において、国際芸術センター青森が行った自己点検評価に係る評価基準やアーティスト・イン・レジデン事業の評価方法等についての議論がなされた。</p> <p>○以上の意見等を踏まえ、今後、国際芸術センター青森あり方検討委員会において、国際芸術センター青森のあり方を本格的に検討していくことが承認された。</p>
<p>案件⑤</p>	<p>新カリキュラムに係る学則別表等について（審議）</p> <p>○学部長から、カリキュラム改定に伴い新たに策定する学則別表等について、資料に基づき説明があった。また、教職課程に係る同別表については、今後、教職委員会において調整の上確定させる旨併せて説明があった。</p> <p>○審議の結果、卒業研究に係る科目の記載を一部修正の上、承認された。</p>
<p>案件⑥</p>	<p>2011年度の学修アドバイザー制度について（審議）</p> <p>○学部長から、2011年度からの学修アドバイザー制度の概要について、2月16日に行われた臨時学部教授会での議論を踏まえ、改めてその案を取りまとめた旨、資料に基づき説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案通り承認された。</p>
<p>案件⑦</p>	<p>図書館及び実習室の利用時間の変更について（審議）</p> <p>○学長から、図書館及び実習室の利用時間の変更に関し、2月16日に行われた臨時学部教授会での議論を踏まえ再検討した結果、当初の案のとおり4月から実施することとする旨の説明があった。</p> <p>○審議の結果、原案通り承認された。</p>
<p>案件⑧</p>	<p>東北地方太平洋沖地震への緊急対応について（審議）</p> <p>○学長から、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震への緊急的な対応として、以下のとおり措置を講じた旨の説明があり、事後承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月12日の学位授与式を中止とし、当日来学した卒業生・修了生に対しては、学部長・研究科長から一人ずつ学位記を授与したこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・被害状況の甚大さを考慮し、一般選抜前期日程に係る入学手続の期限（入学意思の有無確認）を3月18日17:00まで延長したこと。 ・利用者の安全確保及び節電のため、学内の諸施設（図書館、交流施設及び国際交流ハウス）を3月末日まで閉鎖すること。 <p>○また、学長から、今回の地震が多方面に与えた影響の大きさに鑑み、新年度の学事暦を予定通り実施すべきか否か早急に検討する必要があるとの説明があった。これを受け、種々の議論が交わされたが、学事暦の変更により生じる各種影響をさらに精査する必要があることから、これを見極めた上で、最終的には部局長（学長、学部長、研究科長、図書館長、地域研究センター長及び事務局長）に対応を一任することとなった。</p>
<p>案件⑨</p>	<p>平成23年度予算について（報告）</p> <p>○事務局長から、現時点における平成23年度の法人の予算案の概要について、資料に基づき報告があった。</p>
<p>案件⑩</p>	<p>2010年度卒業予定者の就職内定状況について（報告）</p> <p>○事務局（学生・就職支援チームリーダー）から、2月28日現在における2010年度卒業生の就職内定状況について、資料に基づき説明があった。</p>
<p>案件⑪</p>	<p>財務委員会報告について（報告）</p> <p>○財務委員会委員・今教授から、2月23日に行われた財務委員会の概要について報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度中間決算について ・平成22年度補正予算について
<p>案件⑫</p>	<p>人事委員会報告について（報告）</p> <p>○人事委員会委員・吉原教授から、3月2日に行われた人事委員会の概要について報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員職員の採用について ・教員職員の昇任について ・教員職員の再任について ・研究職員の採用について ・学芸員の採用について ・教員職員の退職について ・学芸員の退職について

<p>案件⑬</p>	<p>・大学院科目担当教員の資格認定について</p> <p>東北地方太平洋沖地震の被害状況について（審議）</p> <p>○学長から、東北地方太平洋沖地震の被害状況（教職員及び学生の安否の状況、学内施設の被害状況等）について報告があった。</p>
<p>その他</p>	<p>○特になし</p>